第 15 号　2019 年 5 月吉日発行

JA香川厚生連　滝宮総合病院　広報誌

たきのみや

NO. 15

当院は日本医療機能評価機構認定病院です

■病院理念

私たちは地域の中核病院として安全・安心な医療を提供し、
皆様から信頼され支持される病院をめざします

～Contents～

診療科紹介	大越病院長挨拶
新任医師紹介	新任医師紹介
お薬コラム	抗血小板・抗凝固薬について
病院トピックス	新入職員紹介
リハビリプログラム	バランス体操

病院長挨拶

病院長　　大越　祐一

滝宮総合病院は平成 25 年に新病院として全館グランドオープンさせていただき 6 年目となりました。新しい元号『令和』の始まりとともに新たなステージを迎えるに当たり、改めましてご挨拶を申し上げます。

おかげを持ちましてハード面の整備は進み、さらに診療科の拡充や療養環境を含めた、患者サービスの向上などに取り組んでいます。この４月から循環器内科医と腎臓内科医が増員され、幅広い循環器疾患への対応や透析治療はじめ各専門分野での活躍が期待されています。形成外科につきましても隔週ではございますが新たに診療を開始しています。地域で唯一の総合病院としての役割を果たすため、急性期一般病棟・地域包括ケア病棟・回復期リハビリテーション病棟の最適な運用を推進するとともに、訪問看護や訪問診療を通して在宅医療の支援にも注力をしています。健康管理事業につきましても、内視鏡検査や超音波検査の充実をはじめ新しい検査項目の採用等を含めた再整備を行い、より質の高い健診によって疾病の早期発見・早期治療を可能にしています。

病院理念でございます

「私たちは地域の中核病院として安全・安心な医療を提供し、
皆様から信頼され支持される病院をめざします」

を合言葉に職員一丸となって良質の医療提供に尽力し、JA 組合員及び地域住民の皆様のお役に立てるよう努力してまいる所存でございますので、今後とも引き続きまして一層のご高配を賜りますようお願い申し上げます。

循環器内科

４月より当院に異動になりました
新任の医師をご紹介いたします。

NEW 新任医師紹介

香川大学客員教授
辻　哲平

このたび 2019 年 4 月より滝宮総合病院内科にて勤務しております。平成 10 年香川医科大学卒業後、回生病院、国立病院機構高松医療センター、香川大学医学部附属病院にて勤務しておりました。

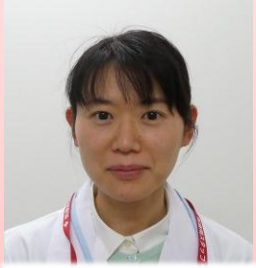
診療は循環器内科、主に血管内科で、**閉塞性動脈硬化症**を中心に診療を行っております。

歩くと足が痛く、しばらく休むと治まる間歇性跛行が、動脈硬化を原因とする閉塞性動脈硬化症の特徴的な症状です。重症化すると下肢の壊死や皮膚潰瘍を引き起こし、なかには切断しなければならない場合もあります。

間歇性跛行が悪化した場合は、動脈内にカテーテルという細い管を通して狭くなった血管を広げる血管内治療を行います。風船付きのカテーテルで拡張する場合や、円筒型の薄い金属で出来たステントを留置して血管を広げる方法を、組み合わせて治療をおこないます。

単なる足の病気だと考えてはなりません。動脈硬化は全身に起こる病気です。頭の血管に起これば脳梗塞、心臓の血管に起これば狭心症、足の血管ならば閉塞性動脈硬化症という、**「全身の動脈硬化症の一部分症」**です。危険因子をお持ちの方は一度受診し、検査を受けていただきたいと思います。

腎臓内科



香川大学客員准教授
西島　陽子

２年間の初期臨床研修後は、香川大学医学部附属病院で腎臓内科の診療・研究に携わってまいりました。**「検尿異常から腎移植まで」**を合言葉に腎炎、腎症、高血圧、体液電解質異常、慢性腎臓病、末期腎不全（血液透析、腹膜透析、腎移植）、とすべての腎臓に関わる疾患を対象にしています。特に最近は癌に関わる腎障害について、早期診断・予防に力を入れておりました。

こちらでは、腎臓内科１人になりますので、残念ながら透析シャント手術、腎生検は行えませんが、他病院と連携をとりながら、これまでより早期にご自宅に近い場所で腎臓の治療が続けられるようにしていきたいと考えております。

腎臓は、私達の体を正常な状態に保つために、とても重要な働きをしています。しかし、腎臓は悪くなって症状が現れるのは最後の最後、「沈黙の臓器」です。悪くなる前に発見して治療するには、検診が重要です。「**たんぱく尿**がおりている」「GFR が低い（**腎臓の働きが悪い**）」「体が**むくんでいる**」「たくさん薬を飲んでも**血圧が下がらない**」等に当てはまる方はぜひ一度受診してください。

お薬コラム

抗血小板・抗凝固薬について

薬剤部　藤岡　広大

一般的に「血をサラサラにする薬」と言われる飲み薬には、大きく分けて

抗血小板薬と抗凝固薬の２種類があります。

◎なぜ血をさらさらにする必要があるのか？

加齢、喫煙、肥満、脂質異常症、高血圧、糖尿病などにより血管が硬くなります。また、細い血管などでは血液の流れが遅くなります。これらの要因によって血液が固まり、血管を詰まらせることで**心筋梗塞や脳梗塞**を起こします。そしてこれらを予防するために、抗血小板薬や抗凝固薬が必要となります。

◎注意しておくこと

血をさらさらにするので、鼻血、歯ぐきからの出血が止まりにくくなったり、打撲して起きる皮下出血などが起こりやすくなります。気がつかないうちに怪我をしていないか、いつもと変わりが無いか、自己チェックが大切です。

出血が多い、なかなか血が止まらないときには医療機関に相談して下さい。

病院トピックス　新採用職員　を迎えました

４月１日より、当院は新しい仲間を迎えることができました。

看護師、検査技師、言語療法士、臨床工学技士、事務職員を採用し、新人研修を経た後、新しい職場で勤務しています。新人職員同様、今後も職員一丸となり質の高い医療サービスを提供できるよう心がけていきたいと思います。

家庭でできるリハビリプログラム

立位バランス運動

リハビリテーション技師長
理学療法士　　鎌田　令子

年齢とともに股関節周囲の筋力低下がすすみます。それに伴い、着替えの時にズボンや靴下を立ったまま履くことができなくなり、転倒の危険性が高くなって骨折へとつながっていきます。

今回は**立位**での**バランス**運動を**2**種類紹介します。

①片足立ち

筋力低下がなければ**３０秒程度**保持できます。片足立ちとなりフラフラするようであれば、テーブルや手すりの近くで転倒しない状態にて**３０秒～１分間**保持しましょう。**朝夕左右２回程度**を目安にしてみてください。

②タンデム立位（継ぎ足立位）

左右の足を**前後に一直線**となるように足のかかととつま先を継ぐようにして立ち、体重を支える面積を最小限にした状態での立位バランス運動です。タンデム立位を取った時にふらつくようなら、テーブルや手すりなどの近くで転倒しない状態で**１～２分間**できるだけバランスを崩さないように立ってみましょう。

参加無料

毎月 学術講演会を開催しています！

どなたでもご自由に参加いただけます！！

当院では、地域の皆様との交流を深め、医療や健康の関心をもって頂くために、毎月第３火曜日『学術講演会』を開催しています。

QRコードチェック！HPアドレス↓

香川県厚生農業協同組合連合会
滝宮総合病院

〒761-2393　香川県綾歌郡綾川町滝宮486番地
Tel　087-876-1145(代)　Fax　087-876-1302
HPｱﾄﾞﾚｽ　http://www.takinomiya-hp.com　滝宮総合病院　検索

JA 香川厚生連　滝宮総合病院　広報誌　たきのみや　発行責任者：企画広報室・患者サービス向上委員会